



昭和六十二年三月

各務原市資料調査報告書第八号

戊辰戦争軍中日記

各務原市教育委員会



戊辰戦争軍中日記

序

ここに『各務原市資料調査報告書』第八号として『戊辰戦争軍中日記』を公刊できる運びとなりましたことを大へん喜ばしく思います。

『戊辰戦争軍中日記』は、坪内嘉兵衛昌寿の家来永井弘衛が、嘉兵衛昌寿一行の一員として従軍したおりに書き残した記録です。嘉兵衛昌寿家は、旗本新加納坪内家の内分家の一つで、前渡村に居住しており、永井家はその坪内嘉兵衛昌寿家の用人の家でありました。嘉兵衛昌寿一行は、慶応四年二月十八日、官軍本隊と大垣で合流、その日からこの記録ははじまります。

本書は、戊辰戦争の際、中山道を下る官軍の動きを知る基礎資料として、市民のみならず、多くのかたがたに活用していただければ幸いです。人々の生きていた証である古記録に親しむことが、文化の香りたかい都市づくりへの一つの方法と考え、将来に役立つことを願ってやみません。

おわりに当り、本書を発行するに際して、ご協力、ご尽力くださいました資料所蔵者をはじめ、関係のかたがたに厚くお礼申し上げます。

昭和六十二年三月

各務原市教育長

水 野 定 之

戊辰戦争軍中日記

目次

凡 序
例

○ 二月十八日	二
○ 二月十九日	四
○ 二月廿一日	五
○ 二月廿二日	七
○ 二月廿三日	八
○ 二月廿四日	〇
○ 二月廿五日	一
○ 二月廿六日	二
○ 二月廿七日	三
○ 二月廿八日	四
○ 二月廿九日	四
○ 二月 晦日	六
○ 三月 朔日	七
○ 三月 二日	八
	九

○ 三月 三日	二〇
○ 三月 四日	二三
○ 三月 五日	二三
○ 三月 六日	二四
○ 三月 七日	二六
○ 三月 八日	二六
○ 三月 九日	二七
○ 三月 十日	二九
○ 三月 十一日	三〇
○ 三月 十二日	三一
○ 三月 十三日	三二
○ 三月 十四日	三三
○ 三月 十五日	三四
○ 三月 十六日	三五
○ 三月 十七日	三五
○ 三月 十八日	三六
○ 三月 十九日	三六
○ 三月 廿日	三七
○ 三月 廿一日	三七
○ 三月 廿二日	三八
○ 三月 廿三日	三八
○ 三月 廿四日	三九

○ 三月 廿五日	四〇
○ 三月 廿六日	四一
○ 三月 廿七日	四二
○ 三月 廿八日	四二
○ 三月 廿九日	四三
○ 三月 三十日	四四
○ 四月 朔日	四六
○ 四月 二日	四七
○ 四月 三日	四九
○ 四月 四日	五〇
○ 四月 五日	五一
○ 四月 六日	五四
○ 四月 七日	五五
○ 四月 八日	五六
○ 四月 九日	五七
○ 四月 十日	五八
○ 四月 十一日	五九
○ 四月 十二日	六〇
○ 四月 十三日	六二
○ 四月 十四日	六三
○ 四月 十五日	六四
○ 四月 十六日	六四

○ 四月十七日	六五
○ 四月十八日	六七
○ 四月十九日	六八
○ 四月廿日	六九
○ 四月廿一日	七〇
○ 四月廿二日	七〇
○ 四月廿三日	七一
○ 四月廿四日	七一
○ 四月廿五日	七二
○ 四月廿六日	七二
○ 四月廿七日	七三
○ 四月廿八日	七四
○ 四月廿九日	七四
○ 閏四月朔日	七五
○ 閏四月二日	七五
○ 閏四月三日	七六
○ 閏四月四日	七六
○ 閏四月五日	七七
○ 閏四月六日	七七
○ 閏四月七日	七八
○ 閏四月八日	七八
○ 閏四月九日	七九

○ 閏四月十日	八〇
○ 閏四月十一日	八一
○ 閏四月十二日	八一
○ 閏四月十三日	八二
○ 閏四月十四日	八三
○ 閏四月十五日	八四
○ 閏四月十六日	八四
○ 閏四月十七日	八四
○ 閏四月十八日	八五
○ 閏四月十九日	八六
○ 閏四月廿日	八六
○ 閏四月廿一日	八七
○ 閏四月廿二日	八八
○ 閏四月廿三日	八八
○ 閏四月廿四日	八九
○ 閏四月廿五日	八九
○ 閏四月廿六日	九二
○ 閏四月廿七日	九二
○ 閏四月廿八日	九三
○ 閏四月廿九日	九三
○ 五月朔日	九四
○ 五月二日	九四

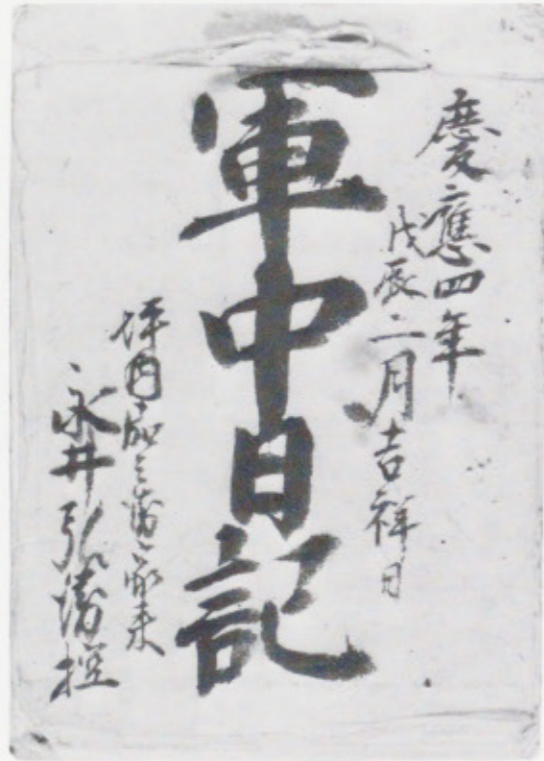
○ 五月 三日	九五
○ 五月 四日	九五
○ 五月 五日	九六
○ 五月 六日	九六
○ 五月 七日	九六
○ 五月 八日	九七
○ 五月 九日	〇〇
○ 五月十日	〇五
○ 五月十一日	〇五
○ 五月十二日	〇六
○ 五月十三日	〇七
○ 五月十四日	〇七
○ 五月十五日	〇七
○ 五月十六日	一三
○ 五月十七日	一三
○ 五月十八日	一四
○ 五月十九日	一五
○ 五月廿日	一五
○ 五月廿一日	一六
○ 五月廿二日	一六
○ 五月廿三日	一七
○ 五月廿四日	二〇

○ 五月廿五日	二〇
○ 五月廿六日	二一
○ 五月廿七日	二二
○ 五月廿八日	二二
○ 五月廿九日	二二
○ 五日 晦日	二三
○ 六月 朔日	二四
○ 六月 二日	二四
○ 六月 三日	二四
○ 六月 四日	二五
○ 六月 五日	二五
○ 六月 六日	二六
○ 六月 七日	二七
○ 六月 八日	二七
○ 六月 九日	二八
○ 六月十日	二八
○ 六月十一日	二九
○ 六月十二日	三〇
○ 六月廿日	三二
○ 六月廿一日	三三

編集後記
 中山道路図
 方位・時刻表
 干支早見表

凡 例

- 一 本報告書は、旗本坪内家の内分分知である坪内嘉兵衛昌寿の出兵に伴い、同行した用人、永井弘衛が記録したものを活字化したものである。
- 一 原史料の所蔵者は那加桜町居住の永井好之氏である。永井家は前渡村の草分け百姓の系譜をひく旧家で、幕末期には弘衛が坪内家の用人となった。
- 一 収録にあたっては、できるだけ原本の体裁を尊重するよう努めたが、必要に応じて（ ）書で注釈をつけた。
- 一 用字は原則として「常用漢字表」に準じ、古体・異体・略体文字も原則として現行正字体に改めた。
- 一 助詞は原則として原本に従ったが、万葉仮名はひらがなに統一した。但し「而已」は「のみ」とせず原本のままとした。
- 一 虫損等により判読が困難な場合は、その字数を□で示し、字数の推定が不可能な場合は□ □で示した。
- 一 読みやすくするため、適宜本文中に句読点を付した。句読点は「、」に統一した。
- 一 原史料の最後の四頁にわたり、別に筆書がされていたが、軍中日記と関係がないと思われたので省略した。
- 一 史料の判読および校正等は、市史編集係長齋藤文彦、同係員上村恵宏・畑佐かやの、同嘱託佐藤浩子・星野文子・辻佳子が担当した。



(二八六八)
慶應四年
戊辰二月吉祥日
軍中日記
坪内嘉兵衛家来
永井弘衛控

大吉

十八日昼前雨

今朝御出立、御家来・村役人始、村中新加納村迄御見立申上ル御屋敷ニテ御酒三斗五升壹樽村方之被下、新加納村迄御酒壹斗小前共持来ル、梅村屋ニテ御休(昌寿)殿様 監物様御二方共御馬御乗切、梅村屋之小島市兵衛殿今尾愛平殿罷出られ、今日尾藩荒川殿御入来、御陣屋

大吉

十八日昼前雨

今朝御出立、御家来・村役人始、村中新加納村迄御見立申上ル御屋敷ニテ御酒三斗五升壹樽村方之被下、新加納村迄御酒壹斗小前共持来ル、梅村屋ニテ御休(昌寿)殿様 監物様御二方共御馬御乗切、梅村屋之小島市兵衛殿今尾愛平殿罷出られ、今日尾藩荒川殿御入来、御陣屋

御改よしニ付、何卒御勘考

相願度被申出候、御酒被下ニ成ル

松本村弥吉各野之出梅利迄(梅村屋利兵衛)

来ル、御逢之上御酒被下ル、尤今日

切通陣屋之荒川氏被参候

管ニ付、御内談之儀相願度旨

小島・今尾より相願被申候ニ付

軍八郎御先之切通迄被遣候処

いまた着無之よし、今尾愛平

被参候

加納宿脇本陣(森孫作)ニ御休

御弁当濟、御家来・村役人共

加納宿迄来

御家来・村役人共

一 監物御馬河渡舟より御返し
 佐兵衛同断
 一 大垣え七ツ半時御着
 御本陣之直様御届御出、下宿
 津島屋平右衛門之御申付

十九日晴

一 御馬御返し、健助・幾右衛門
 御返し、玄正院御供御聞濟相成
 大歎にて支度ニ返ル、明日当地まで
 罷出候筈
 一 弘衛・軍八郎
 御本陣之御用伺ニ出ル

一 殿様 監物様
 御本陣之御機嫌伺ニ御出、御供高崎
 安中
 一 御宿替願候ニ付、御承知相成
 則宮町材久ト申方御案内
 来ル

廿日曇り

一 殿様 監物様
 御本陣之御機嫌伺ニ御出、御供
 安中・高崎・佐平
 一 矢玉之御拵惣懸り
 一 玄正院来ル

一 殿様 監物様
 總督御座御進發夕刻有之
 一 弘衛・軍八郎
 御本陣之御用伺ニ出ル
 一 明日
 總督様明日御進發ニ付、御當
 方ニても御酒下々迄被下
 一 殿様 監物様夕刻
 御本陣之御出、
 總督様御逢之上、御盃有之
 土器御貫、御肴寿留女ニ結昆布
 御手より被下、御末広料千足被下
 監物様同様御貫被遊候

一 殿様 監物様
(岩倉具定)
 總督様御逢、夕刻有之
 一 弘衛・軍八郎
 御本陣之御用伺ニ出ル
 一 明日
 總督様明日御進發ニ付、御當
 方ニても御酒下々迄被下
 一 殿様 監物様夕刻
 御本陣之御出、
 總督様御逢之上、御盃有之
 土器御貫、御肴寿留女ニ結昆布
 御手より被下、御末広料千足被下
 監物様同様御貫被遊候

一 明朝巳ノ下刻
 御進發下申、御觸ニ御座候
 一 御行列書御渡
 廿一日亥雨、昼後晴
 一 殿様 監物様五ツ半時
 御本陣之御出仕
 一 九ツ時
 御進發、此方様大炮懸り
 御先鋒、今日は長州人数先
 陣
 一 美江寺宿之七ツ時御着陣
 越後屋新兵衛方御宿陣

一 明朝巳ノ下刻
 御進發下申、御觸ニ御座候
 一 御行列書御渡
 廿一日亥雨、昼後晴
 一 殿様 監物様五ツ半時
 御本陣之御出仕
 一 九ツ時
 御進發、此方様大炮懸り
 御先鋒、今日は長州人数先
 陣
 一 美江寺宿之七ツ時御着陣
 越後屋新兵衛方御宿陣

一 殿様 監物様
御本陣之御機嫌伺御出

廿二日子八ツ過迄曇り、夫より雨

一 總督様美江寺宿四ツ半時

御進發、河渡宿御昼

殿様 監物様昨日之通御先鋒

加納宿之八ツ過御着、此方様御宿

萬屋丈四郎方

一 玄正院今朝御長持ニ附加納宿之

着、御宿取置前渡御屋敷之御使ニ

行、右は御しよふ木はつひ三差出候様

申遣ス、七ツ半時健助・幾右衛門、

玄正院同道ニて来ル

一 殿様 監物様

御本陣之御機嫌伺御出

廿二日子八ツ過迄曇り、夫より雨

一 總督様美江寺宿四ツ半時

御進發、河渡宿御昼

殿様 監物様昨日之通御先鋒

加納宿之八ツ過御着、此方様御宿

萬屋丈四郎方

一 玄正院今朝御長持ニ附加納宿之

着、御宿取置前渡御屋敷之御使ニ

行、右は御しよふ木はつひ三差出候様

申遣ス、七ツ半時健助・幾右衛門、

玄正院同道ニて来ル

一 殿様

御本陣之御機嫌伺御出

一 此間健助之御申遣し之葱茶酒

箱入持参ニ付

總督様之御献上ニ成ル、尤 殿様

御持参、香川桂藏殿御披露

一 肥前守様六町目齋権寺大

門之御上下ニて御出張有之候処、何之

御挨拶も無之ニ付、為御断篠原

長兵衛殿宅迄弘衛御使者

相勤申候

一 總督様明廿三日

御進發卯之刻と申御触来ル

追書從

朝廷賜り候錦之肩印

一 殿様
御本陣之御機嫌伺御出
一 此間健助之御申遣し之葱茶酒
箱入持参ニ付
總督様之御献上ニ成ル、尤 殿様
御持参、香川桂藏殿御披露
一 肥前守様六町目齋権寺大
門之御上下ニて御出張有之候処、何之
御挨拶も無之ニ付、為御断篠原
長兵衛殿宅迄弘衛御使者
相勤申候
一 總督様明廿三日
御進發卯之刻と申御触来ル
追書從
朝廷賜り候錦之肩印

一 殿様 監物様
御本陣之御機嫌伺御出

廿二日子八ツ過迄曇り、夫より雨

一 總督様美江寺宿四ツ半時

御進發、河渡宿御昼

殿様 監物様昨日之通御先鋒

加納宿之八ツ過御着、此方様御宿

萬屋丈四郎方

一 玄正院今朝御長持ニ附加納宿之

着、御宿取置前渡御屋敷之御使ニ

行、右は御しよふ木はつひ三差出候様

申遣ス、七ツ半時健助・幾右衛門、

玄正院同道ニて来ル

一 殿様 監物様

御本陣之御機嫌伺御出

廿二日子八ツ過迄曇り、夫より雨

一 總督様美江寺宿四ツ半時

御進發、河渡宿御昼

殿様 監物様昨日之通御先鋒

加納宿之八ツ過御着、此方様御宿

萬屋丈四郎方

一 玄正院今朝御長持ニ附加納宿之

着、御宿取置前渡御屋敷之御使ニ

行、右は御しよふ木はつひ三差出候様

申遣ス、七ツ半時健助・幾右衛門、

玄正院同道ニて来ル

一 殿様

御本陣之御機嫌伺御出

一 此間健助之御申遣し之葱茶酒

箱入持参ニ付

總督様之御献上ニ成ル、尤 殿様

御持参、香川桂藏殿御披露

一 肥前守様六町目齋権寺大

門之御上下ニて御出張有之候処、何之

御挨拶も無之ニ付、為御断篠原

長兵衛殿宅迄弘衛御使者

相勤申候

一 總督様明廿三日

御進發卯之刻と申御触来ル

追書從

朝廷賜り候錦之肩印

總督府深キ 思召も有之間
御沙汰ニ相成候迄、大切ニ懷中被致様御触来ル
以候事也

廿三日丑晴

一 加納宿

總督様卯之刻 御進發、御昼
鶴沼宿之九ツ時御着、此方様例
之通御先鋒、前渡村役人共
不殘御機嫌伺ニ出ル、御逢有之
御本陣向ニ御休
一 太田宿福田九一郎之御宿陣

健助之互理・長兵衛・弁治御送
来ル、是より暫馳備候間、いづれも
泊り申候
一 太田宿御警衛永井肥前守様
人数出張、家老篠原兵衛殿・安池新八郎殿
出張
一 今朝長持せた損し候ニ付、大工呼
作事申付ル
一 安池新八郎様宿御出、御着重御持
参
一 總督様御内大炮方坂戸周助殿
入来、炮術御漸之上御酒被下ル
一 總督様之葱琴酒壺坪御献上
廿四日寅晴

一 太田宿卯之半刻御出立
 一 今朝より永井肥前守様人数五拾人
 御加勢ニ成ル
 一 今朝
 総督様御作詩絹地ニ御認、尤御真
 書香川桂三殿より被廻候
 一 御嶽宿之御着八ツ時、御泊り宿新銭屋
 健一郎方
 一 今朝弁治・長兵衛・健助・亘理、小山
 観音之参詣

廿五日卯晴、昼後曇り

一 御嶽宿卯之刻
 御出馬、細湫宿御昼、大湫宿之
 八ツ過御着陣、美吉屋周助方

西條

廿六日辰晴

一 今朝卯之刻大湫宿
 御進發、大井宿ト間之御立場ニテ
 岩村様御賄ニテ、赤飯大むすび
 御本陣附不残二ツツ、出申候
 大井宿御昼、中津川宿之八ツ半時
 御着陣、此方様御宿みよしや
 彦兵衛方之御泊り、例之通
 玄正院御長持ニ添御先之出、御幕
 張り御待請
 一 昨日より、高松殿東方不印ニテ引返シ
 同勢十五人計ニテ参り、在中之逃込
 被居候ニ付、懸合ニ相成ルよし

御泊り

廿六日辰晴

一 今朝卯之刻大湫宿
 御進發、大井宿ト間之御立場ニテ
 岩村様御賄ニテ、赤飯大むすび
 御本陣附不残二ツツ、出申候
 大井宿御昼、中津川宿之八ツ半時
 御着陣、此方様御宿みよしや
 彦兵衛方之御泊り、例之通
 玄正院御長持ニ添御先之出、御幕
 張り御待請
 一 昨日より、高松殿東方不印ニテ引返シ
 同勢十五人計ニテ参り、在中之逃込
 被居候ニ付、懸合ニ相成ルよし

廿七日巳晴

今朝中津川五ッ過
御進発、馬籠宿御昼、美留野
宿之七ッ過御着陣、此方様御宿
小松屋利右衛門方、例之通玄
正院御先之御荷物附添御先番
御幕張有之
一 昨夕方より郡上人数式百人余
附添ニ成ル

廿八日午雨

今朝美留野宿六ッ半過

今朝美留野宿六ッ半過

廿八日午雨

御進発、御昼休須原宿、例之通
玄正院今朝より御先之出立、上松宿
御宿陣、吉田屋友吉方ニ玄正院
御幕張り御待請
一 寐覚御小休ニ相成ル
一 殿様 監物様
御本陣之朝夕共御機嫌伺御出
御目通有之
一 夜五ッ過頃
御本陣より御触来、下役之衆兩人
持参、右は去ル廿六日夜、馬籠
宿ニて、因州藩之内伊藤松之助
と申者、人足多分ニ取乱酒等いたし
候ニ付、軍令ニ背候かね切殺候段相届

出候ニ付、為御心得御達可申旨達
 状持参、拜見之上御触之趣
 承知之旨申答候
 一 当宿松本藩御賄ニ付、人数多分出張
 御用人稲村万太郎御出張ニ付、夜中御機嫌
 為伺御出
 廿九日未昨夜より大雨
 今朝上松宿卯之刻
 御進発、福島宿御昼
 御関守山村甚兵衛様
 御関所白須之御上下ニて御下座
 一 敷原宿之七ツ過御着陣、此方
 御宿松屋清吾
 一 当宿御賄松平伊賀守様

一 今朝上松宿卯之刻
 一 御進発、福島宿御昼
 一 御関守山村甚兵衛様
 一 御関所白須之御上下ニて御下座
 一 敷原宿之七ツ過御着陣、此方
 御宿松屋清吾
 一 当宿御賄松平伊賀守様

一 總督様敷原宿卯之刻
 一 御進発、二エ川宿御昼、本山宿
 七ツ時御着陣、玄正院例之通
 御先番、此方様松坂やえ御幕
 張り、御待請、当宿之松本之
 城主戸田丹羽守様
 總督様之御目通ニ御出ニ付、野々山四郎左衛門様
 御供ニて御出よしニ付、高崎浜之助
 御使ニ被遣候、仍て夜四ツ頃四郎左衛門様
 御出、暫御嘶有之

晦日申雪降

一 總督様敷原宿卯之刻
 一 御進発、二エ川宿御昼、本山宿
 七ツ時御着陣、玄正院例之通
 御先番、此方様松坂やえ御幕
 張り、御待請、当宿之松本之
 城主戸田丹羽守様
 總督様之御目通ニ御出ニ付、野々山四郎左衛門様
 御供ニて御出よしニ付、高崎浜之助
 御使ニ被遣候、仍て夜四ツ頃四郎左衛門様
 御出、暫御嘶有之

三月朔日西晴

一 今朝本宿五ツ時
御進發、塩尻宿御昼
一 昨夜岡田將監様御嫡子（下之）登之助様
江戸表より本山まで御出、当御昼休ニテ
總督様之御目通濟、是より御供被成候
一 諏訪宿之七ツ過御宿陣、此方様
藤屋仁右衛門之御宿陣、御列目付
新井三郎殿御機嫌伺ニ入来、御逢有之
一 塩尻宿諏訪宿之間今井
方ニ御立ニ成ル、下々まで赤飯煮
しめ物出ル、玄正院例之通

三月朔日西晴

一 今朝本山宿五ツ時
御進發、塩尻宿御昼
一 昨夜岡田將監様御嫡子（下之）登之助様
江戸表より本山まで御出、当御昼休ニテ
總督様之御目通濟、是より御供被成候
一 諏訪宿之七ツ過御宿陣、此方様
藤屋仁右衛門之御宿陣、御列目付
新井三郎殿御機嫌伺ニ入来、御逢有之
一 塩尻宿諏訪宿之間今井
方ニ御立ニ成ル、下々まで赤飯煮
しめ物出ル、玄正院例之通

御先番、ふじやニ御幕張り御待受
一 諏訪宿御着陣之上
殿様 監物様当日御祝義旁
御機嫌伺ニ御出
總督様御逢有之

二日戊晴

一 總督様御機嫌伺例之通
殿様 監物様御出
一 稲村万太郎様御出、御逢有之
一 安池銖次郎様御出有之、右は
元込御簡之早込出来
一 明日永井肥前守様人数より加納之
便り有之よしニ付、御出状

一 野々山五ツ時夜五ツ時
 一 和田峠豊橋ニ屯致居候、高松殿附
 佐良惣藏始之者、夕刻
 御本陣之御呼寄、五拾壹人來ル、御門
 切大小御取上、御糺相成候處、恐入候ニ付
 天下之為御法繩懸ケ、諏訪様
 下牢之人、夜明方

三日亥曇り、昼頃より雪
 辰之刻御出立之御達之処
 昨夜之御役所夜明ニ相成候ニ付
 九ツ頃御出立ニ成ル
 豊橋まで

御進發、御小休ニ相成候處、佐良
 惣三逗留跡吟味ニ相成候、殘盜式十
 人計居、三人逃去り十七人取おさへ
 大小取上繩懸ケ、彦根人数之御預ケ
 諏訪宿之連行、大炮車懸ケ一挺
 ハンドモルチール三挺・小銃五六
 弾藥長持二棹・其外諸道具
 沢山有之、御取上諏訪様之御預ケ
 ニ成ル、今日昨夜之佐良始之者
 御仕置ニ相成候、いづれ四拾人計は
 首落申候
 一 和田峠大雪、豊橋御立場ニて諏
 訪様より赤飯出ル
 一 和田宿之夜五ツ時御着、此方

一 宿衛 監物様
 一 稲村万太郎様当宿之御用懸り
 一 今日格別不正之共食ニ付
 一 總督様思召ヲ以老人ニ付酒式合ツ、
 被下候
 一 殿様 監物様
 一 御本陣之御機嫌伺御出
 一 稲村万太郎様当宿之御用懸り
 一 ニて御出、為御機嫌此方様御出被進候之
 一 処、御用多ニて御出難成被、仍て稲村様
 一 符属之人、問屋懸り之人御名代ニ来ル
 一 右は此間御約束之炮術矢櫓
 一 誤合之書物御廻し成ル
 一 野々山様より海老箱入御状添
 来ル

四日子晴

一 和宿五ツ時
 御進發、岩田宿御昼、八幡
 宿之七ツ過御着陣、此方様小松や
 金兵衛方之御泊り、玄正院例之通
 御荷物送旁御先番

五日丑昼後雪

一 八幡宿五ツ時
 御進發、岩村田宿御昼、追分宿之
 七ツ半過御着陣、此方様柳屋
 市兵衛方御宿陣
 一 碓氷

熊宮神主曾根大隅・同職
 水沢河内兩人入來、右今般
 御進發御供被遊候ニ付、御武運
 長久之御守献上仕度申出候ニ付
 御守御受、御初穂金式朱ツ、被遊候
 今日御昼支度之節、真田様より
 すまし・平・猪口・肴切身右三品
 附御馳走ニ出ル
 一 八幡宿人足不都合いたし逃候
 ニ付、宿役人之向ケ呼遣ス
 一 塩なた宿ニて長束村多平治ニ逢
 御本家若殿様御登り、善光寺之御廻り之よし
 六日寅晴
 一 追分宿辰之刻
 御進發、御昼輕井沢宿

一 碓氷峠
 熊野三社大権現様
 總督様御參詣、此方様御同断
 一 坂本宿之日之入御着陣
 此方様御宿谷屋盛助方、玄正院
 之通御先番
 一 殿様 監物様
 御本陣之御機嫌伺ニ朝夕共御出
 一 夜八ツ時八幡宿問屋・年寄
 兩人來ル、右は昨日御長持せた損シ
 させ逃去り候ニ付、宿役人人足連泊リ
 まで罷越候様書面遣し置候間
 御咤ニ來、宿森助ヲ以追々咤候ニ付
 咤書為出相濟候、玄正院之金百疋

熊宮神主曾根大隅・同職
 水沢河内兩人入來、右今般
 御進發御供被遊候ニ付、御武運
 長久之御守献上仕度申出候ニ付
 御守御受、御初穂金式朱ツ、被遊候
 今日御昼支度之節、真田様より
 すまし・平・猪口・肴切身右三品
 附御馳走ニ出ル
 一 八幡宿人足不都合いたし逃候
 ニ付、宿役人之向ケ呼遣ス
 一 塩なた宿ニて長束村多平治ニ逢
 御本家若殿様御登り、善光寺之御廻り之よし
 六日寅晴
 一 追分宿辰之刻
 御進發、御昼輕井沢宿

一 碓氷峠
 熊野三社大権現様
 總督様御參詣、此方様御同断
 一 坂本宿之日之入御着陣
 此方様御宿谷屋盛助方、玄正院
 之通御先番
 一 殿様 監物様
 御本陣之御機嫌伺ニ朝夕共御出
 一 夜八ツ時八幡宿問屋・年寄
 兩人來ル、右は昨日御長持せた損シ
 させ逃去り候ニ付、宿役人人足連泊リ
 まで罷越候様書面遣し置候間
 御咤ニ來、宿森助ヲ以追々咤候ニ付
 咤書為出相濟候、玄正院之金百疋

卯辰一日山王五相返入

七日卯晴

一坂本宿朝五ツ時
御進發、松井田宿御昼、安中宿
御宿陣八ツ過、此方様御宿
薄屋房吉方御着陣之上
御兩人様共
御本陣之御上り、何歟不審敷
義有之風聞ニ付、夜中も御上り

八日辰晴

一安中宿五ツ時

内々出し候、仍て直様返ス

七日卯晴

一坂本宿朝五ツ時
御進發、松井田宿御昼、安中宿
御宿陣八ツ過、此方様御宿
薄屋房吉方御着陣之上
御兩人様共
御本陣之御上り、何歟不審敷
義有之風聞ニ付、夜中も御上り

八日辰晴

一安中宿五ツ時

西進至後三時高崎宿
御進發、高崎宿之正九ツ時
御着陣、宿入口之松平右京亮様
御出迎被成候、此方様御泊り
中紺屋町伊丹屋久兵衛方
昼後 御本陣之御上り

九日巳晴

一高崎宿四ツ時
御進發、本庄宿御宿陣と申処
薩長之隊長斥候ニ参り居候処
早馬にて引返し申上候ニは、熊谷宿
在梁田と申所ニ会藩之人數屯し
御本陣之廻り候様子ニ付、御油断不可
有之、いづれ熊谷宿まで御進可然

九日巳晴

一高崎宿四ツ時
御進發、本庄宿御宿陣と申処
薩長之隊長斥候ニ参り居候処
早馬にて引返し申上候ニは、熊谷宿
在梁田と申所ニ会藩之人數屯し
御本陣之廻り候様子ニ付、御油断不可
有之、いづれ熊谷宿まで御進可然

ト之事ニ付、本庄宿七ツ半過御進發、夜五ツ頃深谷宿之御着陣途中之斥候又早馬ニテ薩長之隊長申上候ニハ、敵人数六百人計之處、大垣斥候隊一小隊・薩長同断、人数メ百五拾人計ニテ跡より付入戦争仕候処、敵百余人打取身方老人も即病無之、怪我人十人計、ふん取物大炮四挺・玉葉沢山軍取仕候よし、然ル処、途中御用心可然と、又候御先之斥候ニ被參候御中軍御本陣付共玉込、深谷ニテ御支度、弁当銘々持參御進發ニ成ル、熊谷宿之夜四ツ過御着陣、途中まで忍之御城主

松平下總守様御家老御先之御案内被致候
殿様 監物様御本陣之御上り
今晚夜番も可仕哉之段御伺被遊候処、先今晚ハ其儀ニ不及旨御沙汰ニ相成候、御宿吉田屋清八方

十日午曇り、昼後雨
殿様 監物様御本陣之御上り
今日御滞陣之趣御触来ル
昨日之戦争軍捕物、大炮四挺・小銃三百七拾挺計・玉葉沢山・其外品々取集式拾駄計、今日御本陣ニ持込

一 今日昨日之打渡し者追廻し
 戦争有之様子之処、散乱いたし
 戦争無之、三藩之人数引取申候
 怪我人も追々引取
 一 安池様昨夜御着ニ付御出被成候

十一日未晴

一 熊谷宿五ツ時
 御進発、間宿ニて御昼支度、桶
 川宿御宿陣、此方様御宿
 喜島屋半七
 一 夕方 殿様 御本陣へ御上り
 一 監物様御義、今日より
 総督様御側役被 仰付ニ付

御本陣詰ニ成ル

十二日申曇り、雨時々少

一 桶川宿四ツ時頃
 御進発、大宮宿御昼
 一 信州座光寺様今日御出兵
 惣人数五拾人計、斥候被
 仰付候ニ付、御先之御出立
 一 安藤利三郎様人数今日御跡
 より慕来ル、御供被 仰付候、隊
 長は佐藤久松、九里方吉節也
 一 蔵宿日之入ニ
 御着陣、此方様御宿葛屋

庄左衛門方、御馬廻遊軍衆御同
 宿
 一 夜ニ入 御本陣之
 殿様御上り

十三日酉時

一 殿様 御本陣之御上り
 一 御廻状来ル、右は今午刻
 時宜ニ寄、板橋宿まで
 御進發ニ相成可申旨申来ル
 則八ツ半時
 御進軍、板橋宿まで暮六ツ時
 御着陣
 一 御本陣より大炮打方申付

十三日酉時
 一 殿様 御本陣之御上り
 一 御廻状来ル、右は今午刻
 時宜ニ寄、板橋宿まで

御進發ニ相成可申旨申来ル
 則八ツ半時
 御進軍、板橋宿まで暮六ツ時
 御着陣
 一 御本陣より大炮打方申付

加納藩清水三之丞・永田又三
 安池鉄次郎・平田佐平
 此方ニて永井弘衛・山本軍八郎
 岡田様御家来式人
 右は 御本陣之兩人ツ、相詰
 可申旨達ニ相成ル、仍て今晚は
 山本・平田兩人御泊り相勤申候

十四日戌時

一 今日御滞陣ニ成ル、昼後
 御本陣詰永井・永田、夕刻
 岡田様御家来兩人

今日御滞陣ニ成ル、昼後
 御本陣詰永井・永田、夕刻
 岡田様御家来兩人

十五日亥晴

一昨夜九ツ過御廻状来ル、右は
大総督様御下知ニ付、明十五日
御進軍、辰之刻斥候隊御
操出シ、諸藩共弁当式度分
用意いたし、御差図ヲ請可申旨
御触申来ル、小荷駄は相応之
人数差添当宿ニ残し置可申旨
御達シ

十五日亥晴

一昨夜九ツ過御廻状来ル、右は
大総督様御下知ニ付、明十五日
御進軍、辰之刻斥候隊御
操出シ、諸藩共弁当式度分
用意いたし、御差図ヲ請可申旨
御触申来ル、小荷駄は相応之
人数差添当宿ニ残し置可申旨
御達シ

殿様

御本陣之御上り、御間合御座候処
今日より当宿ニ御滞陣之趣御達し
有之候

十六日子晴

一殿様
御本陣之御上り
一今日御滞陣
御本陣泊り番永田又三殿
永井弘衛
一今日昼後
御本陣御番安池氏・清水氏
一平田・高崎・玄正院・安中同道ニて
田舎之罷出、鶏三羽求来、夕刻
坂戸氏入来

十六日子晴

一殿様
御本陣之御上り
一今日御滞陣
御本陣泊り番永田又三殿
永井弘衛
一今日昼後
御本陣御番安池氏・清水氏
一平田・高崎・玄正院・安中同道ニて
田舎之罷出、鶏三羽求来、夕刻
坂戸氏入来

十七日丑晴

一昨夜泊り御番平田・山本也

昼前御番永田氏・永井
 一 今昼後より秋元但馬守様大砲
 方十五人御頼相成、則来ル
 御本陣御番右人数にて一廻り御勤
 被下候様談申候、仍て一廻り相濟候ハ、
 此方より又一廻り相勤可申旨申談
 置

十八日寅晴、夕刻大風雨

殿様御本陣之御上り
 一 昼後王子稻荷社之弘衛
 佐一郎・浜之助・玄正院參詣願
 行

十九日卯晴

殿様 御本陣之御上り
 一 監物様御出被遊候
 (ママ)

廿日辰晴

殿様昼後御不快ニ付御平臥
 一 弘衛・佐市郎江戸之願行
 一 明日美濃表之加納屯所より幸便
 有之趣ニ付、書状出ス
 一 御本陣御番弘衛・又三

廿一日巳晴

一 軍八郎・浜之助・佐平江戸之願行
 一 新八郎様御入来

廿二日午晴、昼後曇り
 一 殿様御本陣之御上り
 一 弘衛・軍八郎・其外大炮打方
 組合打寄り、ホート玉・ライフル玉拵
 いたし候、尤長州隊長祖式金八郎殿
 方にて
 一 總督様賀加下屋敷之御成り
 諸藩力有之者呼寄角力被
 仰付候間
 殿様拜見ニ御出被遊候
 一 安池鉄之助様御出

廿三日未曇り、雨

一 殿様
 御本陣之御上り、羅紗御羽織
 ニラ山笠御拝領
 一 弘衛・軍八郎・其外組合寄合
 ホード玉拵ニ長州陣營ニ行
 一 夕方 御本陣御泊り番岡田様
 当り之処、小川治平差支ニ付、弘衛
 仕理ニ出ル
 一 玄正院江戸之願行
 廿四日申晴
 一 殿様
 御本陣之御上り
 一 永田又三・山本軍八郎朝番ニ出ル

一 昼後
 總督様加賀様下屋敷之御成
 力士之角力被 仰付、今日は行事
 切ウタ附、七ツ過ニ濟、跡ニテ諸藩人数之
 御機被下ニ付、岡田家来・坪内家来
 共不残御呼出し、御酒被下ニ成、長藩
 彦藩其外共御醉ニテ大唄、其内薩藩
 隊長・長藩隊長天井揚いたし
 御騒キ御座候
 一 殿様御供也、御帰陣後御礼ニ出ル
 一 今夕御本陣泊り軍八郎・安池鉄次郎様
 廿五日酉朝少し雨、晴
 殿様 御本陣之御上り

一 昼後
 總督様加賀様下屋敷之御成
 力士之角力被 仰付、今日は行事
 切ウタ附、七ツ過ニ濟、跡ニテ諸藩人数之
 御機被下ニ付、岡田家来・坪内家来
 共不残御呼出し、御酒被下ニ成、長藩
 彦藩其外共御醉ニテ大唄、其内薩藩
 隊長・長藩隊長天井揚いたし
 御騒キ御座候
 一 殿様御供也、御帰陣後御礼ニ出ル
 一 今夕御本陣泊り軍八郎・安池鉄次郎様
 廿五日酉朝少し雨、晴
 殿様 御本陣之御上り

一 築田連三殿入来
 廿六日戌晴
 殿様
 御本陣之御上り
 御どふらん出来ル
 一 新井三郎殿入来
 一 築田連三殿入来
 一 玄正院御祈禱火消行申候
 申之刻前
 殿様 御本陣之御上り
 一 江戸市谷美濃屋市助番頭
 来ル

一 築田連三殿入来
 廿六日戌晴
 殿様
 御本陣之御上り
 御どふらん出来ル
 一 新井三郎殿入来
 一 築田連三殿入来
 一 玄正院御祈禱火消行申候
 申之刻前
 殿様 御本陣之御上り
 一 江戸市谷美濃屋市助番頭
 来ル

廿七日亥曇り

一 殿様例之通り
御本陣之御上り、昼後同断
一 今夕 御本陣詰清水氏

廿八日子雨

一 昨夜御触来ル、右は
御本陣表書記海老名兵部、此
間薩藩有馬藤太兵器短銃
蜜見いたし、於御座敷不調ニて炮発
候条、不埒之至ニ付押込有之、嚴罪ニ
可被仰付之処、格別之思召ヲ以、双刀
被召上京地之為附登ニ相成候趣
御達ニ相成申候

廿七日亥曇り

一 殿様例之通り
御本陣之御上り、昼後同断
一 今夕 御本陣詰清水氏

廿八日子雨

一 昨夜御触来ル、右は
御本陣表書記海老名兵部、此
間薩藩有馬藤太兵器短銃
蜜見いたし、於御座敷不調ニて炮発
候条、不埒之至ニ付押込有之、嚴罪ニ
可被仰付之処、格別之思召ヲ以、双刀
被召上京地之為附登ニ相成候趣
御達ニ相成申候

一 今朝 御本陣詰花村唱殿
山本軍八郎
一 殿様
御本陣之御上り
一 御本陣詰永井弘衛・平田
佐平
一 同泊り番平田氏・立林様より老人

廿九日丑雨、昼後晴

一 殿様御本陣之御上り
一 今般御改御制札・其外御触
出ル、別紙在ル
一 大炮連中玉葉改立会申来ル

廿七日亥曇り

一 殿様例之通り
御本陣之御上り、昼後同断
一 今夕 御本陣詰清水氏

廿八日子雨

一 昨夜御触来ル、右は
御本陣表書記海老名兵部、此
間薩藩有馬藤太兵器短銃
蜜見いたし、於御座敷不調ニて炮発
候条、不埒之至ニ付押込有之、嚴罪ニ
可被仰付之処、格別之思召ヲ以、双刀
被召上京地之為附登ニ相成候趣
御達ニ相成申候

弘衛・軍八郎出ル
 午後
 殿様・加納様御本陣之御出

三十日寅晴

一 佐平江戸市谷美濃や之遣ス
 殿様
 御本陣之御上り
 午後新八郎様御出、昨日之
 御触書貸具候様御頼ニ付御貸
 被成候
 今日之合言葉草むら

臨兵闘者皆陣列在前

臨兵闘者皆陣列在前

四月朔日卯晴

一 殿様
 御本陣之御上り
 宇津之宮邊ニ会・桑人数五百
 余人屯し居、宇津之宮城之押入
 候模様之旨注進、御加勢願来ルニ付
 御出兵ニ相成候

彦根藩より
 小隊二隊
 岡田藩より
 半小隊
 岩村藩より
 一小隊
 堀様藩より
 一小隊

四月朔日卯晴

一 殿様

御本陣之御上り
 宇津之宮邊ニ会・桑人数五百
 余人屯し居、宇津之宮城之押入
 候模様之旨注進、御加勢願来ルニ付
 御出兵ニ相成候

彦根藩より
 小隊二隊
 岡田藩より
 半小隊
 岩村藩より
 一小隊
 堀様藩より
 一小隊

一 殿様
 御本陣之御上り
 宇津之宮邊ニ会・桑人数五百
 余人屯し居、宇津之宮城之押入
 候模様之旨注進、御加勢願来ルニ付
 御出兵ニ相成候

彦根藩より
 小隊二隊
 岡田藩より
 半小隊
 岩村藩より
 一小隊
 堀様藩より
 一小隊

一 殿様
 御本陣之御上り

二日辰晴

一 今日合言葉溪山

右之通御操出し相成候

外ニ
 大炮屯挺
 岡田様人数
 秋元様人数
 右隊長
 香川氏
 租式氏

一 玄正院傳之亭江戶之願行
 一 御本陣詰花村氏・青水氏
 一 水田氏・弘衛昼後出ル、今夕
 泊り軍八郎
 一 岡田鑿之助様御供頭高間連八郎殿
 御便ニ来ル、右は鑿之助
 御本陣ニて度々御世話ニ相成、忝次第ニ
 被存、為御礼參上仕候之処、若年ニ付
 私より右御礼宜可申旨鑿之助
 申付候、印迄ニ龜末之御菓子
 一折被差上候間、御笑留可被下候旨
 申述候
 殿様御逢之上御答礼被仰遣候
 彦藩より二小隊御操出し

右は千手宿辺ニ会・桑人数
 式三百人居候よし注進ニ付、御操出し
 今夜之合言葉竹虎

三日巳少雨

一 殿様
 御本陣之御上り
 一 昼後御番軍八郎・平田佐兵衛
 一 夕方泊り番青水氏・永田氏
 花村氏・永井
 一 殿様夕方
 御本陣之例之通御上り、大監察之
 昨日岡田様より御貫之御菓子折
 御遣ニ相成候

一 吳服屋、此間注文之ま^(マント)んてる仕立来ル
 一 弘衛御預り金式拾兩之内、十兩
 軍八郎之渡ス

四日午曇り、少し雨

一 昨夜弘衛・三之丞・又三・唱御泊り
 番、今朝引
 殿様
 御本陣之御上り
 一 山科隊より病人有之よしニ付
 高崎頼来ル、高崎罷出候、尤佃氏
 被参候
 一 安池繁之丞殿入来、種物察治
 高崎頼被参候
 一 今日 御勅使御登城ニて御^(達)し
 一 今夕 御勅使御登城ニて御^(達)し

一 吳服屋、此間注文之ま^(マント)んてる仕立来ル
 一 弘衛御預り金式拾兩之内、十兩
 軍八郎之渡ス

四日午曇り、少し雨

一 昨夜弘衛・三之丞・又三・唱御泊り
 番、今朝引
 殿様
 御本陣之御上り
 一 山科隊より病人有之よしニ付
 高崎頼来ル、高崎罷出候、尤佃氏
 被参候
 一 安池繁之丞殿入来、種物察治
 高崎頼被参候
 一 今日 御勅使御登城ニて御^(達)し

有之、則御請有之趣、御触書御手元ニ御印
 一 安池新八郎様鉄炮屋連御出
 七玉炮・元込炮二挺持来ル、元込炮
 金三拾兩ニて御買上、新八郎様
 七玉炮式百玉付
 殿様御買上之処之、大垣藩桑
 山豊三郎殿鉄炮見定ニ立寄り
 被申候
 一 今日之合言葉松風
 一 今夕泊り番平田・山本・永田氏

五日未雨

一 今朝御番花村氏・清水氏
 永井
 殿様

御本陣之御上り、此間御拝借
 御願被遊候金子、今日拝借仕
 度旨御願被遊候処、藤井氏昼後
 御渡申候間、証書御持參可被成旨
 御達ニ付、下書御貫、則西之内
 紙ニ御認、御持參御引替ニ相成候
 一 去朔日御出兵相成候人数、途
 中千手宿より八里計先流山と
 申処ニ、会・桑之人数三百人計
 屯し居候処、百五拾人計召捕、右
 之内ニ大將近藤勇と申者御召捕
 昨夜当所之送りニ相成、尤同人
 家来屯人添来、兵器不殘御取
 上ケ、鉄炮数百挺之よし
 一 新八郎様御出、鯛大二尾御持參

御本陣之御上り、此間御拝借
 御願被遊候金子、今日拝借仕
 度旨御願被遊候処、藤井氏昼後
 御渡申候間、証書御持參可被成旨
 御達ニ付、下書御貫、則西之内
 紙ニ御認、御持參御引替ニ相成候
 一 去朔日御出兵相成候人数、途
 中千手宿より八里計先流山と
 申処ニ、会・桑之人数三百人計
 屯し居候処、百五拾人計召捕、右
 之内ニ大將近藤勇と申者御召捕
 昨夜当所之送りニ相成、尤同人
 家来屯人添来、兵器不殘御取
 上ケ、鉄炮数百挺之よし
 一 新八郎様御出、鯛大二尾御持參

右煮付御酒有之処之、坂戸
 周助殿入来
 一 高崎加納陣營之病人見舞ニ行
 一 拝借御証文左之通

右煮付御酒有之処之、坂戸
 周助殿入来
 一 高崎加納陣營之病人見舞ニ行
 一 拝借御証文左之通

一 金百両
 右は為軍用奉拝借之処、明白ニ
 御座候、返金之儀は御帰陣之節
 於領所ニ上納可仕候、仍て証札如件
 慶応四戊辰 坪内嘉兵衛印
 四月
 總督府

一 金百両
 右は為軍用奉拝借之処、明白ニ
 御座候、返金之儀は御帰陣之節
 於領所ニ上納可仕候、仍て証札如件
 慶応四戊辰 坪内嘉兵衛印
 四月
 總督府

金穀方御中

右之通下書相下り申候
今日合言葉雲霧

六日申曇り

殿様

御本陣之御上り

朝番山本・平田出勤

昨日御買上之御鉄炮代金請

取ニ来ル、則渡ス

秋元刑部大輔様

御本陣之拜謁ニ御出、右御用人

土屋鑛八郎と申仁、大炮方之御使

者ニ来ル、右御口上、警藩之者共

格別ニ御引廻ニ預リ忝被存、挨拶

宜申述候様刑部大輔被申付之趣
被申述候、是大炮方詰所之、尤
当御宿陣之も被参候ニ付
殿様御逢御意有之候
午後花村氏・清水氏・永田氏
永井出勤
夕方呉服屋来ル
今日合言葉水鳥

七日酉雨

殿様

御本陣之御上り

四ツ谷呉服屋来ル、段袋四ツ申付ル

市谷美濃やより鉄炮桐油拵来ル

寸尺違候ニ付直しニ遣ス

金穀方御中

右之通下書相下り申候

今日合言葉雲霧

六日申曇り

殿様

御本陣之御上り

朝番山本・平田出勤

昨日御買上之御鉄炮代金請

取ニ来ル、則渡ス

秋元刑部大輔様

御本陣之拜謁ニ御出、右御用人

土屋鑛八郎と申仁、大炮方之御使

者ニ来ル、右御口上、警藩之者共

格別ニ御引廻ニ預リ忝被存、挨拶

宜申述候様刑部大輔被申付之趣
被申述候、是大炮方詰所之、尤
当御宿陣之も被参候ニ付
殿様御逢御意有之候
午後花村氏・清水氏・永田氏
永井出勤
夕方呉服屋来ル
今日合言葉水鳥

七日酉雨

殿様

御本陣之御上り

四ツ谷呉服屋来ル、段袋四ツ申付ル

市谷美濃やより鉄炮桐油拵来ル

寸尺違候ニ付直しニ遣ス

一 赤木小間物や鞭持来ル、馬之頭
 付之鞭御買上
 總督様之献上被遊候
 一 山本屋新右衛門まんてる直し来ル
 此間より品々御買上ニ相成候不足金
 今日皆勘定済
 一 昼後御番平田・夕方泊り花村
 清水・永田・山本
 一 今日合言葉松杉

八日戌晴

一 御本陣之 殿様御上り
 一 朝番弘衛出勤
 一 昼後四ツ谷呉服屋段袋仕立来ル
 一 鉄炮桐油仕立直し来ル

一 赤木小間物や鞭持来ル、馬之頭
 付之鞭御買上
 總督様之献上被遊候
 一 山本屋新右衛門まんてる直し来ル
 此間より品々御買上ニ相成候不足金
 今日皆勘定済
 一 昼後御番平田・夕方泊り花村
 清水・永田・山本
 一 今日合言葉松杉

八日戌晴

一 御本陣之 殿様御上り
 一 朝番弘衛出勤
 一 昼後四ツ谷呉服屋段袋仕立来ル
 一 鉄炮桐油仕立直し来ル

一 今日合言葉水魚
 一 弘衛 安藤様陣營ニ行

九日亥晴

一 御本陣之 殿様御上り
 一 朝番花村氏・清水氏・永田氏
 一 山本出勤
 一 昼後御番弘衛・佐平
 一 玄正院江戸之買物ニ行、序ニ
 監物様ハチ鉄求来ル、代金老分老朱也
 一 今日合言葉雲虎

九日亥晴

一 今日合言葉水魚
 一 弘衛 安藤様陣營ニ行
 九日亥晴
 一 御本陣之 殿様御上り
 一 朝番花村氏・清水氏・永田氏
 一 山本出勤
 一 昼後御番弘衛・佐平
 一 玄正院江戸之買物ニ行、序ニ
 監物様ハチ鉄求来ル、代金老分老朱也
 一 今日合言葉雲虎

十日子少し曇り

一 殿様

御本陣之御上り

一 岡田繁之助様之御滞陣中

為御見舞、鯛壱尾・炮大(鮑)二はい

軍八郎為御使者被遣候、繁之助様

御逢御答礼御座候之処、只今馬之

稽古中ニ付、拙(者脱カ)より御答礼可申旨

被申付候よし、御用人黒田新兵衛

ト申仁申述候

一 今日合言葉浪華

一 今より合言葉浪華

十一日丑曇り、少し雨

一 昨夜八ツ時頃

御本陣小監察より、御用之儀

有之候間、早々御出仕御座候様

申来ルニ付、直様御出仕、右は

慶喜儀弥明十一日水戸表之

出立之様子、就ては江戸表何歟

騒敷候間、俄ニ当駅之敵襲来り

候も難計、仍て御心得置可被成旨

御談ニ付

殿様始弁当用意ニて

御本陣之御詰、大炮方詰所之

同断、夜明方

一 昨夜八ツ時頃
御本陣小監察より、御用之儀
有之候間、早々御出仕御座候様
申来ルニ付、直様御出仕、右は
慶喜儀弥明十一日水戸表之
出立之様子、就ては江戸表何歟
騒敷候間、俄ニ当駅之敵襲来り
候も難計、仍て御心得置可被成旨
御談ニ付
殿様始弁当用意ニて
御本陣之御詰、大炮方詰所之
同断、夜明方

殿様御下り
 一 巢鴨町より籠長持出来ル
 一 今四ツ時 尾藩之
 御城引渡ニ相成筈ニ候処、今以弥
 之御沙汰無之候
 一 今夕之合言葉花山

十二日寅曇り

殿様
 御本陣之御上り被遊候処、弥
 昨十一日暁七ツ時慶喜隊水府
 表之出立、御城義は勅定之通
 尾藩之引渡、諸役人不残麻
 上下ニて速ニ引渡相済申候

殿様御下り
 一 巢鴨町より籠長持出来ル
 一 今四ツ時 尾藩之
 御城引渡ニ相成筈ニ候処、今以弥
 之御沙汰無之候
 一 今夕之合言葉花山
 十二日寅曇り
 殿様
 御本陣之御上り被遊候処、弥
 昨十一日暁七ツ時慶喜隊水府
 表之出立、御城義は勅定之通
 尾藩之引渡、諸役人不残麻
 上下ニて速ニ引渡相済申候

武器同断、西丸下歩兵其外
 歩兵兵器共引渡、薩藩・肥後藩之
 御預ケ相成ル
 一 昨日は大風ニ付軍艦御引渡
 無之、今日御引渡
 一 明日東海道先鋒
 総督様 御城御見分と申事
 一 今朝宇津之宮より注進有之、右は
 屯人数之内ニ板倉伊賀守様御親
 子御加り之処、軍門ニ御降り被成候よし
 ニ付、宇津之宮之御預ケニ相成候旨申来ル
 一 今日合言葉雲岸

武器同断、西丸下歩兵其外
 歩兵兵器共引渡、薩藩・肥後藩之
 御預ケ相成ル
 一 昨日は大風ニ付軍艦御引渡
 無之、今日御引渡
 一 明日東海道先鋒
 総督様 御城御見分と申事
 一 今朝宇津之宮より注進有之、右は
 屯人数之内ニ板倉伊賀守様御親
 子御加り之処、軍門ニ御降り被成候よし
 ニ付、宇津之宮之御預ケニ相成候旨申来ル
 一 今日合言葉雲岸

十三日卯晴
 一 今日東海道先鋒
 總督御城御見分と申処
 田安御門之内ニ兵賦六百人余り承
 伏不仕之趣ニ付、何歟不穩、仍て見
 付御門諸藩之御固被 仰付、今
 一 応接、弥聞入不申節は打払
 之御沙汰ニ付、御門固ニ彦藩人数
 長藩人数・大垣藩・因藩・土藩各
 一小隊ツ、出ル、御模様次第
 總督様ニも御進軍ニ付、人足多分
 繰入
 殿様
 御本陣之御上り

十三日卯晴
 一 今日東海道先鋒
 總督様御城御見分と申処
 田安御門之内ニ兵賦六百人余り承
 伏不仕之趣ニ付、何歟不穩、仍て見
 付御門諸藩之御固被 仰付、今
 一 応接、弥聞入不申節は打払
 之御沙汰ニ付、御門固ニ彦藩人数
 長藩人数・大垣藩・因藩・土藩各
 一小隊ツ、出ル、御模様次第
 總督様ニも御進軍ニ付、人足多分
 繰入
 殿様
 御本陣之御上り

十四日辰晴
 殿様
 御本陣之御上り
 一 昼後御番弘衛、夕方泊り番
 清水氏・花村氏・永田氏・山本
 一 今日合言葉花風
 一 玄正院江戸願行

一 朝番弘衛・佐兵衛、昼後
 花村氏・清水氏・永田氏・山本
 一 今日合言葉風雲
 一 夕方高須渡辺孫衛殿入来

十四日辰晴
 殿様
 御本陣之御上り
 一 昼後御番弘衛、夕方泊り番
 清水氏・花村氏・永田氏・山本
 一 今日合言葉花風
 一 玄正院江戸願行

十五日巳曇り

一 玄正院・佐市郎江戸之願行

一 殿様

一 御本陣之御上り

一 朝番平田氏出ル

一 殿様昼後安藤様本營之御出

一 佐藤氏在陣、御機出ル、御供高崎

平田

一 新八郎様御出

一 今日合言葉山鶴

十六日午晴

一 昨日

一 大總督様芝贈上寺之御着ニ付

一 昨日

今日三道先鋒

一 總督様同寺之御寄合被遊候

仍て当方

一 總督様・副總督様御出張

一 御先道固彦藩人数出ル、長藩

人数一小隊御供、夜四ツ頃御歸陣

一 昼前御番花村氏・清水氏・永田氏

永井、昼後山本・平田

一 今日合言葉前同断

一 殿様

一 御本陣之御待請ニ御上り、夜四ツ過御歸り

一 佐藤久松殿入来、御菓子出ル

十七日未曇り

一 今日
 大總督様御入城
 御天見と申事
 一 殿様
 御本陣之御上り
 一 高須渡辺孫衛殿入来
 大政御日誌二冊拝借被相願候ニ付
 御貸被成候
 一 新八郎様御出
 一 昼後御番花村氏・清水氏・永
 田氏、夕方泊り弘衛・軍八郎・佐平
 一 野州コガ土井様御城、会藩人数
 其外江戸ダツソウノ勢凡四千計ニテ
 取まき候よしニ付、先達て御操出し之
 香川召連之人数大難之趣申
 来ルニ付、因州・土州両藩勢二大隊

一 今日
 大總督様御入城
 御天見と申事
 一 殿様
 御本陣之御上り
 一 高須渡辺孫衛殿入来
 大政御日誌二冊拝借被相願候ニ付
 御貸被成候
 一 新八郎様御出
 一 昼後御番花村氏・清水氏・永
 田氏、夕方泊り弘衛・軍八郎・佐平
 一 野州コガ土井様御城、会藩人数
 其外江戸ダツソウノ勢凡四千計ニテ
 取まき候よしニ付、先達て御操出し之
 香川召連之人数大難之趣申
 来ルニ付、因州・土州両藩勢二大隊

一 今日
 大總督様御入城
 御天見と申事
 一 殿様
 御本陣之御上り、昼後加州下屋敷之
 御本陣御馬・大垣馬乗り鴻野
 与七郎被頼責馬ニ行ニ付、見物ニ
 御出
 一 御泊り番花村氏
 一 合言葉ひる中山鶴

御出兵ニ相成ル
 一 夕方泊り弘衛・軍八郎・佐平
 一 十八日申晴
 一 大垣勢・長州勢コガ之御操出し
 一 高崎・平田江戸表之大炮カルマ買ニ被遣候
 一 殿様
 御本陣之御上り、昼後加州下屋敷之
 御本陣御馬・大垣馬乗り鴻野
 与七郎被頼責馬ニ行ニ付、見物ニ
 御出
 一 御泊り番花村氏
 一 合言葉ひる中山鶴

十九日西晴

一 朝番清水氏・永田氏・永井
山本罷出候処、器械方ニて焼玉
製作ニ付、詰所ニ老人残り惣懸り
野州結城城ニ租式金八郎
籠居候処、賊軍大勢襲来大
ハイ軍ニて租式馬之口之者命からく
ニて今日注進ス、先達御繰出し之
人数過半打死之様子ニ付、大垣人
数器械持参出立
殿様
御本陣之御上り、監物様
總督様御買物ニ江戸之御出御供高崎
合言葉前同断

十九日西晴

一 朝番清水氏・永田氏・永井
山本罷出候処、器械方ニて焼玉
製作ニ付、詰所ニ老人残り惣懸り
野州結城城ニ租式金八郎
籠居候処、賊軍大勢襲来大
ハイ軍ニて租式馬之口之者命からく
ニて今日注進ス、先達御繰出し之
人数過半打死之様子ニ付、大垣人
数器械持参出立
殿様
御本陣之御上り、監物様
總督様御買物ニ江戸之御出御供高崎
合言葉前同断

廿日戌晴

一 器械方之焼玉作皆々罷出候
殿様
御本陣之御上り
一 昼後御番永田氏・花村氏・清水氏
山本罷出候之処、焼玉製作ニ付
永田氏老人御番
泊り御番平田・永井出ル
合言葉前同断
一 昼後新八郎様御出、御酒出ル
一 夕方御仕置打首三人在ル
一 秋元様より出居候大地方杉本勝藏と
申仁手負来ル、長州病院療治

廿日戌晴

一 器械方之焼玉作皆々罷出候
殿様
御本陣之御上り
一 昼後御番永田氏・花村氏・清水氏
山本罷出候之処、焼玉製作ニ付
永田氏老人御番
泊り御番平田・永井出ル
合言葉前同断
一 昼後新八郎様御出、御酒出ル
一 夕方御仕置打首三人在ル
一 秋元様より出居候大地方杉本勝藏と
申仁手負来ル、長州病院療治

一 皇國之御出狀、加納藩之御頼
 一 總督様江戸御城之御出、御警衛
 一 彦藩一小隊・長藩一小隊・大垣藩
 一 小隊御供
 一 玄正院江戸之御買物行
 一 新八郎様御出
 一 昨日薩摩藩・長藩・大垣藩人数
 一 戰爭大勝利之よし、敵式百人
 一 余打取、怪我人数不知、自方即
 一 死三人・怪我人三人、分取多分有之
 一 趣注進来ル
 一 泊り番清水氏・花村氏・永田氏
 一 山本
 一 廿二日子風雨
 一 總督様江戸之御出

廿一日亥晴

一 皇國之御出狀、加納藩之御頼
 一 總督様江戸御城之御出、御警衛
 一 彦藩一小隊・長藩一小隊・大垣藩
 一 小隊御供
 一 玄正院江戸之御買物行
 一 新八郎様御出
 一 昨日薩摩藩・長藩・大垣藩人数
 一 戰爭大勝利之よし、敵式百人
 一 余打取、怪我人数不知、自方即
 一 死三人・怪我人三人、分取多分有之
 一 趣注進来ル
 一 泊り番清水氏・花村氏・永田氏
 一 山本
 一 廿二日子風雨
 一 總督様江戸之御出

一 皇後彦藩人数野州之繰出し
 一 殿様
 一 御本陣之御上り
 一 大炮方器械方之焼玉拵ニ行
 一 明日
 一 總督様御進軍之御様子ニ付
 一 色々取片付ル
 一 廿四日寅曇り
 一 總督様御進軍蕨宿御泊りト
 一 申出、俄ニ江戸因州屋敷之御進
 一 夜六ツ半過御着

廿三日丑晴

一 皇後彦藩人数野州之繰出し
 一 殿様
 一 御本陣之御上り
 一 大炮方器械方之焼玉拵ニ行
 一 明日
 一 總督様御進軍之御様子ニ付
 一 色々取片付ル
 一 廿四日寅曇り
 一 總督様御進軍蕨宿御泊りト
 一 申出、俄ニ江戸因州屋敷之御進
 一 夜六ツ半過御着

廿五日卯曇り

一 總督様

大御總督様御出

殿様御供被遊候

昨夜注進官軍勝利之趣申来ル

廿六日辰少雨

昨夜須坂隊長中野監物注進ニ来ル、結

城・生壬城・宇津宮城(宮)宮軍之取

返し大勝之趣注進、館林斥

候より同断申上候、東照大権現と相

認候絹之大旗・会と認有之候□(証)

式本ノ三本分取

總督様之差出ス

總督様御出

殿様御供被遊候

昨夜注進官軍勝利之趣申来ル

一 副總督様御登

城被遊候

一 昨曉七ツ時北島氏京師之出立

廿七日巳大雨

一 今日岡田鑿之助様御幼少ニ付

人数差置在所表之歸村候様被

仰渡、御暇戴キ御出立、東海道

御登リ

一 大礮方四人加納藩之被仰付

夕方出ル

夕方出ル

夕方出ル

夕方出ル

夕方出ル

夕方出ル

夕方出ル

夕方出ル

夕方出ル

夕方出ル

夕方出ル

夕方出ル

廿八日午昼後大雷鳴

一 總督御進軍板橋宿御昼
蕨宿御泊り七ツ過御着
一 此方様御宿壽屋弥三郎之
御泊り、長持式棹因州屋敷之
御預ケ、器械兵米諸事加納藩
人数警衛被 仰付残ル

廿九日未晴

一 蕨宿五ツ半時御進軍、浦和宿
御昼、桶川之御泊り、七ツ時御着陣
一 此方様御宿松森屋宗吉方

閏四月朔日申晴

一 今朝桶川宿五ツ半時御進軍
忍御城内之御着陣と申処、右城
内手都合出来不申ニ付、鴻巣宿之
御宿陣、此方様御宿斧屋
彦七方之九ツ時御着

二日西晴

一 今朝鴻巣宿五半時御進
軍、忍御城内之八ツ半時御着陣
本丸之
總督御入、今般御供人数

廿八日午昼後大雷鳴

一 總督御進軍板橋宿御昼
蕨宿御泊り七ツ過御着
一 此方様御宿壽屋弥三郎之
御泊り、長持式棹因州屋敷之
御預ケ、器械兵米諸事加納藩
人数警衛被 仰付残ル

廿九日未晴

一 蕨宿五ツ半時御進軍、浦和宿
御昼、桶川之御泊り、七ツ時御着陣
一 此方様御宿松森屋宗吉方

閏四月朔日申晴

一 今朝桶川宿五ツ半時御進軍
忍御城内之御着陣と申処、右城
内手都合出来不申ニ付、鴻巣宿之
御宿陣、此方様御宿斧屋
彦七方之九ツ時御着

二日西晴

一 今朝鴻巣宿五半時御進
軍、忍御城内之八ツ半時御着陣
本丸之
總督御入、今般御供人数

長藩・大垣藩・岩村田藩・岩村藩・安藤藩・郡上藩・岡田人数
斥候座光寺盈太郎様・飯田藩

三日戌曇り

一 昨夜より大礮方械方之成
田御門番被 仰付候、三人ツ、昼
夜一時替り勤、諸藩隊長
より印鑑出ル、引合之上通ス

四日亥雨

一 殿様御登 城
一 野州今市と申処にて去廿八日戦

争、官軍大勝利、分取物夥敷
一 去廿九日日光山ニ屯罷在候賊
兵打払、賊徒敗走、同山之彦藩
人数固居候よし注進有之

五日子曇り

一 殿様御登 城
一 弘衛御門出仕候

六日丑曇り

一 殿様御登 城

長藩・大垣藩・岩村田藩・岩村藩・安藤藩・郡上藩・岡田人数
斥候座光寺盈太郎様・飯田藩

三日戌曇り

一 昨夜より大礮方械方之成
田御門番被 仰付候、三人ツ、昼
夜一時替り勤、諸藩隊長
より印鑑出ル、引合之上通ス

四日亥雨

一 殿様御登 城
一 野州今市と申処にて去廿八日戦

争、官軍大勝利、分取物夥敷
一 去廿九日日光山ニ屯罷在候賊
兵打払、賊徒敗走、同山之彦藩
人数固居候よし注進有之

五日子曇り

一 殿様御登 城
一 弘衛御門出仕候

六日丑曇り

一 殿様御登 城

七日寅曇り

- 一 昨夜香川桂藏殿引取
- 一 七ツ時西尾遠江介殿・薩藩
伊知地正治殿引取
- 一 今日合言葉苔石

八日卯晴

- 一 殿様御登城
- 一 館林重役外兩人入来
- 一 明日館林城之御進軍ニ付、忍藩
上より大炮方之御酒出ル、御看勝男武士

二 籠、酒壺斗五升被下候、然ル処、吞尽
難ニ付、五升二樽明日持参之積リ

九日辰大雨

- 一 今朝六ツ半時
御進軍、八ツ過頃戸田川御越、向岸
館林領ニ付家老御迎ニ来ル、七ツ半時
御入城、秋元但馬守様町端迄御出迎
御隠居刑部太夫様王手迄御出張
此方様御城内家中宅、尤大炮方
同宿、大雨道悪敷難渋ニ付
総督様より 殿様并大炮方之
御酒料金三両被下候
- 一 捨太郎様瘧疾ニテ夕刻御同宿ニ

十日巳晴

一先達云
 総督様御座候處、永寛一郎殿
 原安太郎殿、小栗上野介追討
 之斥候ニ被参居候處、今日小栗親
 子之首持参、但同人家来五人首打
 捨、分取物馬三疋・其外兵器多分
 持参被致候
 一昨夕 総督様より被下候御酒肴
 器械方一同ニ披露
 一殿様町方御見物ニ御出、御案内大
 畑太勝次郎殿
 一岡田様人数日光辺出張居候處
 今日引上来ル

御出

十日巳晴

- 一 先達云
- 一 総督様斥候豊永寛一郎殿
- 一 原安太郎殿、小栗上野介追討
- 一 之斥候ニ被参居候處、今日小栗親
- 一 子之首持参、但同人家来五人首打
- 一 捨、分取物馬三疋・其外兵器多分
- 一 持参被致候
- 一 昨夕 総督様より被下候御酒肴
- 一 器械方一同ニ披露
- 一 殿様町方御見物ニ御出、御案内大
- 一 畑太勝次郎殿
- 一 岡田様人数日光辺出張居候處
- 一 今日引上来ル

十一日午曇り

一殿様 捨太郎様
 御本陣之御上り
 一桐油直しニ遣ス

十二日未晴

一殿様
 御本陣之御上り
 一昼後 殿様町方御遊ニ出
 御本陣より御印付袖印下ル
 一夕方田中俊平殿入来、此間
 頂戴之酒出ス

十一日午曇り

十二日未晴

- 一 殿様 捨太郎様
- 一 御本陣之御上り
- 一 桐油直しニ遣ス
- 一 殿様
- 一 御本陣之御上り
- 一 昼後 殿様町方御遊ニ出
- 一 御本陣より御印付袖印下ル
- 一 夕方田中俊平殿入来、此間
- 一 頂戴之酒出ス

十三日申晴

一 殿様

御本陣之御上り

一 昼後当御城主より御中軍御馬廻り

之分之御使者有之趣、大木八郎殿

内々被申聞候ニ付待請申候、玄閑之

入来手札 御用印 御用印 御用印 口上左ニ

今般御勅使御進軍ニ付、嘉兵衛様ニも

御符属御苦勞ニ被存候、何分当地ニ御滞

陣被下置候ても誠ニ以不行届、恐縮被存候

仍て以使者宜及御挨拶ニ旨、但馬守申付

候旨被申述候ニ付、申上候処

殿様御逢御答被遊候

一 夕方但馬守様より

先鋒
總督存之儀一統之御酒・錫出ル、則
大官察より一統被請候様廻状来ル、大
方併ニ此方様人数之三斗五升樽
老ツ・鯛式百枚来ル、夕方一統頂戴
一 長州内三謀 租式金八郎殿引取
之よし

十三日申晴

一 殿様

御本陣之御上り

一 昼後当御城主より御中軍御馬廻り

之分之御使者有之趣、大木八郎殿

内々被申聞候ニ付待請申候、玄閑之

入来手札 御用印 御用印 御用印 口上左ニ

今般御勅使御進軍ニ付、嘉兵衛様ニも

御符属御苦勞ニ被存候、何分当地ニ御滞

陣被下置候ても誠ニ以不行届、恐縮被存候

仍て以使者宜及御挨拶ニ旨、但馬守申付

候旨被申述候ニ付、申上候処

殿様御逢御答被遊候

一 夕方但馬守様より

先鋒

總督様兵隊一統之御酒・錫出ル、則

大官察より一統被請候様廻状来ル、大

方併ニ此方様人数之三斗五升樽

老ツ・鯛式百枚来ル、夕方一統頂戴

一 長州内三謀 租式金八郎殿引取

之よし

十四日酉晴

一 殿様御登 城被遊候

一 昼館林藩大噉方より蕎麦切被上候、下ニ迄

沢山ニ貫ひ、至て風味宜敷候

一 夕方御国元より御着状、尤加納藩

より届、明日又候加納藩より美濃表之幸

先鋒
總督存之儀一統之御酒・錫出ル、則
大官察より一統被請候様廻状来ル、大
方併ニ此方様人数之三斗五升樽
老ツ・鯛式百枚来ル、夕方一統頂戴
一 長州内三謀 租式金八郎殿引取
之よし

十四日酉晴

一 殿様御登 城被遊候

一 昼館林藩大噉方より蕎麦切被上候、下ニ迄

沢山ニ貫ひ、至て風味宜敷候

一 夕方御国元より御着状、尤加納藩

より届、明日又候加納藩より美濃表之幸

使月福松殿

十五日戌辰

一殿様

御本陣之御上り

十六日亥晴

一殿様例之通昼前昼後共

御本陣之御上り

一高須藩渡辺孫衛殿・黒川鈴助殿
余

十七日子晴

一殿様例之通

便ニ付、認頼出ス

十五日戌雨

一殿様

御本陣之御上り

十六日亥晴

一殿様例之通昼前昼後共

御本陣之御上り

一高須藩渡辺孫衛殿・黒川鈴助殿
入来

十七日子晴

一殿様例之通

御本陣之御上り

一監物様御出、町方ニ慎被居候
香川敬三殿之御用向ニテ御出、御供
佐一郎

一夜四ツ過頃御廻状来ル、右は

近日御進軍ニ相成候、然ル処、当節
麦刈・田植之折柄ニ付、彈薬之
外之荷物は一日後レニ相廻可申旨
之御回章、御手元ニ留在之
一 大地方一統御筒磨ニ行

十八日丑曇り

一佐藤久松殿入来、先達て拝
借仕置候太政官日誌、長々

日信難有奉存候、仍て御返上
申上候、然ル処、明日御進軍ニ付
警隊儀は今日出立仕候間、又々
江戸表ニて拝顔仕候旨、被申聞被引取候

十九日寅晴

今朝六ツ時御出立
總督様江戸表之御進軍
忍城下ニて御昼・鴻之巢之七ツ
過御着陣、西村五助方ニ
此様御着陣
夕方京都より北島氏帰着
廿日卯晴四ツ頃より曇り
鴻巢宿六半過

御進軍、上尾宿御昼、大宮宿
之七ツ過御着、此方様御宿布袋
屋半次郎方
夕方岡田様御家来大谷彦
四郎殿入来、野州辺戦争之嘶
被申上候

廿一日辰雨

上尾宿五ツ時
御進發、藏宿御昼、板橋宿之
七ツ時御着陣、此方様御宿
飯田屋左文治方
御本陣附田中俊平殿御機嫌
伺入来、館林大炮役同断

御進軍、上尾宿御昼、大宮宿
之七ツ過御着、此方様御宿布袋
屋半次郎方
夕方岡田様御家来大谷彦
四郎殿入来、野州辺戦争之嘶
被申上候

廿一日辰雨

上尾宿五ツ時
御進發、藏宿御昼、板橋宿之
七ツ時御着陣、此方様御宿
飯田屋左文治方
御本陣附田中俊平殿御機嫌
伺入来、館林大炮役同断

加納大地方同断

廿二日巳晴

一
今日
總督様江戸因州屋敷之御入、然ル処
御出懸ケ御登 城

廿三日午少雨

廿四日未雨

廿五日申雨少し

一
今日
總督様江戸因州屋敷之御入、然ル処
御出懸ケ御登 城

加納大地方同断

廿二日巳晴

一
今日
總督様江戸因州屋敷之御入、然ル処
御出懸ケ御登 城

廿三日午少雨

廿四日未雨

廿五日申雨少し

一
昼前 御本家様御知行上州
鶴生村名主清左衛門、同村之内清兵衛と
申者始四拾人計マカ党徒いたし候始
末、右は今般近村百式拾ケ村秋元
但馬守様御取締ニ相成、村高反別
納辻御取調ニ付、書上書面先例
より暫相違ニ清兵衛取締、清左衛門ニ
調印仕候様申聞候ニ付、相違廉も
御座候ニ付、御地頭所之伺ならでは
調印難仕申候へは、清兵衛始会合
いたし、調印いたし候様強談仕候ニ付

何分御地頭所之御届可申上旨申
 出張仕候留主之徒党之者共押込
 清左衛門掃村仕候迄待合可申旨
 併し空腹ニ付焚出し候様申候ニ付
 無余儀米壹斗五升焚出し申候
 然ル処、夜中清左衛門女房寐間之
 清兵衛忍人、強縁^(密)申掛候ニ付
 一時ニ逆上清兵衛之手疵為負、右ニ付
 秋元様御役人出張
 御取調、清左衛門留主中不相当
 之御取計共奉存候間、勘考仕候処
 御時節柄御地頭様之御取計ニも難
 相成よしニ付、幸御分地様^(知)
 御勅使様之御附之よし承り候ニ付
 御縫り申候間、何卒秋元様之御声
 掛り之程奉願度旨申、始末書持参

何分御地頭所之御届可申上旨申
 出張仕候留主之徒党之者共押込
 清左衛門掃村仕候迄待合可申旨
 併し空腹ニ付焚出し候様申候ニ付
 無余儀米壹斗五升焚出し申候
 然ル処、夜中清左衛門女房寐間之
 清兵衛忍人、強縁^(密)申掛候ニ付
 一時ニ逆上清兵衛之手疵為負、右ニ付
 秋元様御役人出張
 御取調、清左衛門留主中不相当
 之御取計共奉存候間、勘考仕候処
 御時節柄御地頭様之御取計ニも難
 相成よしニ付、幸御分地様^(知)
 御勅使様之御附之よし承り候ニ付
 御縫り申候間、何卒秋元様之御声
 掛り之程奉願度旨申、始末書持参

- いつきや義之助案内にて清左衛門来ル
- ニ付、右之次第ニ候ハ、伊豆守様より
- 御使者ヲ以御申込も御座候ハ、^(昌寿)嘉兵衛様
- よりも御取持被成候間、御役人御一人御出
- 張之儀可申上旨申遣ス
- 一 彦坂善左衛門殿入来、弘衛逢
- 石炭之儀談申候、横浜取調之儀
- 頼、殿様御逢之儀は、伊豆守様より
- 一度も御使者無之、如何之御儀ニ付、先々
- 御逢御見合可被成旨、代官察より談ニ付
- 御止
- 一 玄正院・安中・高崎御門出
- 一 因州勢・大久保勢・吹上勢・松
- 本勢引上来ル

廿六日西曇り
 一 軍八郎・玄正院・高崎・安中
 佐平御買物行
 一 夕方加納藩病院青木順道御機始
 伺ニ出ル

廿七日戌雨

一 青木順道入来
 一 總督様斥候舟越氏之切疵療治
 一 高崎浜之助立会いたし候
 一 昼頃彦坂善左衛門入来、右は今日
 私心得ニて、伊豆守様より之
 總督様御機嫌伺御使者相勤可申
 心得ニて参上仕候ニ付、乍序私御機嫌伺

一 夕方夜具出ル、会計局より廻ル
 一 廿八日亥雨
 一 当賀申上候
 一 (マ)

廿九日子雨

一 總督様御登 城ニ付
 殿様御供御登 城

一 加納藩隊長篠原長兵衛殿より
酒肴大地方被送候ニ付、いつれ打寄
大醉

五月朔日丑辰

一 当賀申上候
一 徳川家相統は徳川亀之助様之
被 仰付、領地高之儀は追て被
仰付候旨被仰渡候趣、尤
大総督様より御達也
一 二日寅雨
一 総督様之
勅使有之、穂並三位様也

一 加納藩隊長篠原長兵衛殿より
酒肴大地方被送候ニ付、いつれ打寄
大醉

五日朔日丑雨

一 当賀申上候
一 徳川家相統は徳川亀之助様之
被 仰付、領地高之儀は追て被
仰付候旨被仰渡候趣、尤
大総督様より御達也
一 二日寅雨
一 総督様之
勅使有之、穂並三位様也

一 旧旗本知行取り之分、今般
御一新ニ付 王臣ニ被仰付候
趣 大総督様より御達し之よし

三日卯曇り

一 弘衛・軍八郎大礮磨出ル

四日辰曇り

一 捨太郎様御母様御大病ニ付
京師
岩倉様より御添書附彦藩沢村
角左衛門殿より歎願書横井甚之助
持参来ニ付 監物様御取次
御差出、御聞濟相成、今日御帰京ニ
相成候、尤早駕籠也、今迄之供人

侍中多岐守之旨也
一 玄正院私用ニて板橋宿之願行

五分巳辰

一 南宮法親王

一 任列項長之職ニ付

一 注進ニ付、須坂人数御当地之出張

一 之向、御差返ニ相成候

六日午雨

一 大久保與七郎様拜謁有之

一 殿様御刀研ニ被遣候、尤加納藩

一 参り居候者

七日未曇り

侍・中間明日出立之筈也

一 玄正院私用ニて板橋宿之願行

五日巳辰

一 当日御祝儀申上候

一 信州順坂辺之賊兵襲候趣

一 注進ニ付、須坂人数御当地之出張
一 之向、御差返ニ相成候

六日午雨

一 大久保與七郎様拜謁有之

一 殿様御刀研ニ被遣候、尤加納藩
一 参り居候者

七日未曇り

一 殿様赤松氏同道ニて町方之
御出、御供軍八郎・浜之助・佐一郎
佐平

八日申大雨夕方より大風雨

一 弘衛

一 總督様御供ニ出ル

一 夕五半時代官察より

一 殿様之御用有之趣御達ニ付

一 御出殿被遊候処

岡田繁之助様

御名代

日根野順平

座光寺盈太郎様

座光寺盈太郎様

新田滿次郎様

御名代

大久保重幸様

右御同席、此方様御先之御呼出し、御達書左ニ

出、御達書左ニ

朝臣被

仰附候、此段相達候事

五月

別紙之通

大總督宮

御沙汰候間、此段相達候也

新田滿次郎様

御名代

大久保与七郎様

右御同席、此方様御先之御呼出し、御達書左ニ

出、御達書左ニ

朝臣被

仰附候、此段相達候事

五月

別紙之通

大總督宮

御沙汰候間、此段相達候也

東山道總督府

五月八日

参謀

坪内嘉兵衛殿

右之趣

總督様於御前御達、前認

順也

口達御達左ニ

明九日巳ノ刻各方御揃御登

城可被成候旨、御達

右ノ趣
總督様於御前御達、前認
順也
口達御達左ニ
明九日巳ノ刻各方御揃御登
城可被成候旨、御達

九日酉晴

一昨夕御達之通、辰之時刻

當
總督様大広間之

座光寺盈太郎様

大久保与七郎様

岡田方様

岡田様

御名代

新田様

右御参会御登
城、殿様方御三人共御馬御籠

九日酉晴

一昨夕御達之通、辰之時刻

當
總督様大広間之

座光寺盈太郎様

大久保与七郎様

御当方様

岡田様

御名代

新田様

御名代

右御参会御登

城、殿様方御三人共御馬御籠

為御持、御同道御

城御玄関より御上り、御番人之御名

々様御手札御差出被遊候処、御番人

取次、下参謀猪口勘七と申人

大広間之入側之御案内ニ付御着

座、御口上、始て之御挨拶相濟、昨日は

不存寄結構ニ被 仰付難有仕合

奉存候、就ては今日登

城仕候旨御達ニ付、登

城仕候間宜御取計奉頼候段、御申述

勘七と申人承知旨答、引取られ

暫過て

大總督府下参謀

長藩

寺島秀之助と申人

罷出、今日は